

報道関係者 各位

放送批評懇談会



発表！2019年9月度ギャラクシー賞月間賞

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで57年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、批評活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する制度「月間賞」を運営しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年を受賞作を決定いたします。6月初旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナー、シンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース (<https://houkon.jp/galaxy-database/>)」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS

◆お問い合わせ先

放送批評懇談会／担当：福島・齋藤

〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F

Tel : 03-5379-5521 Fax : 03-5379-5510

kondankai@houkon.jp <https://houkon.jp/>

放送批評懇談会



2019年9月度ギャラクシー賞月間賞

よるドラ「だから私は推しました」

7月27日～9月14日放送 23:30～23:59 日本放送協会

地下アイドルとドルオタの関係性を門外漢の視聴者にも伝わるように描きつつ各キャラクターを魅力的に見せ、そのうえで叙述トリックを使ったダイナミックな物語構成をやったのけた森下佳子の脚本がとにかく見事。凝った映像演出と俳優たちの熱演も相まって、30分×8回とは思えない見応えだった。

NNNドキュメント'19「大胡田家の風景～全盲の夫婦が見つけた家族のかたち～」

9月15日放送 25:05～25:34 読売テレビ放送

全盲夫婦の苦労話になっていないところがいい。ハンディキャップを負っていても心の持ちよう、明るく楽しく暮らすことができる。その手本のような家族にこちらが明るい気持ちになった。同時に多様な豊かな社会とは、どのようなものなのかについても考えさせられた。

V6の愛なんだ2019

9月23日放送 20:00～22:57 TBSテレビ

学生たちと一緒にしゃぎ、笑い、驚き、悩みや夢に寄り添うV6。なかでもアトラクション部の生徒たちにアクションの指導をした岡田准一の真剣さとそれに懸命に応える部員たちのひたむきさに胸を打たれた。V6と接し、その思いを肯定されることで学生たちの顔つきが見る見るうちに変わっていくのが印象的だった。

土曜ドラマ「サギデカ」

8月31日～9月28日放送 21:00～21:49 日本放送協会 NHKエンタープライズ

詐欺を追う刑事、詐欺の末端のかけ子、詐欺集団の上層部、そして詐欺被害者、さまざまな視点から描くことで、詐欺が生まれてしまう社会の問題点や構造が明らかになっていた。主人公の共感能力の強すぎるキャラクターは、刑事としては弱点かもしれないが、人間をひとくりにせず、一人ひとりに「顔がある」ということに立ち返らせてくれた。